

八女の園芸振興と新規参入への支援

～複合経営の推進と新規参入で園芸産地の維持を～

【要 約】

研修会や経営分析等を活用し、雇用型園芸農家の育成を行っている。また、既存生産者への新規園芸品目を推進し、経営安定への支援を行い、園芸作物面積の増加を図っている。さらに、新規就農希望者の支援を行い12名が営農開始した。

【目 的】

園芸農業の担い手は、高齢化が進み、部会退会等により面積と生産量の減少での産地規模の縮小が続いている。打開策は、既存農家の規模拡大や新規参入者等の育成が急務となっている。

そのため、雇用型経営を目指す農家の育成と複合経営志向農家や新規参入希望者を支援する。

1 活動対象の概況

J Aふくおか八女 野菜6部会等(1,582人)8,546百万円、花き部会等(323人)4,238百万円、果樹8部会(1,860人)6,251百万円 園芸作物志向農家および新規参入希望者(平成23年度)

2 活動の内容等

(1) 雇用型経営体育成

八女モデルとする雇用型経営体(イチゴ、キク、ナシ)の実態調査を行った。また、認定農業者の経営改善計画書作成支援時に雇用型経営の推進を行った。

普及センターと農振協主催により、中小企業診断士、雇用を活用している農家等を講師として雇用型経営研修会を開催した。

(2) 園芸作物の生産拡大

作物振興推進会議を定期的で開催した。

8月と2月に全地区で振興品目推進として、農業者向けの作物相談会を開催した。

併せて、品目毎の栽培講習会を行い、技術向上を図った。

(3) 新規参入への支援

5月に農外からの就農希望者を対象にした新規就農相談会を開催した。さらに、市町、JA、農振協との連携により、個別毎の支援を行った。



写真1 作物相談会



写真2 イチゴ栽培研修会

3 活動の成果

(1) 雇用型経営体育成

25年度は野菜5、花き3、複合（イチゴ+茶、草花+モモ）2、の計10経営体が雇用型経営体となった。

(2) 園芸作物の生産拡大

品目では、イチゴ10名の126a、トマト3名の50a、ナス1名の10a、アスパラガス4名の27a、イチジク2名の20a増加となった。

(3) 新規参入への支援

農外参入での営農開始はイチゴ9、トマト2、ブドウ+イチジク1の計12名。
就農前では、トマト1、ミニトマト1、アスパラガス1、イチゴ2、ナス1、ナシ+ブドウ1の7名が受入れ農家での研修を行っている。

4 今後の見通し又は課題

- (1) 家族経営から規模拡大を目指した雇用型園芸農家への誘導促進を図る。
- (2) 新規作物導入農家及び新規就農者の継続的育成と定着化として栽培技術、資金や事業活用支援を行う。